

第五十六議會提出(昭和四年二月)

臺灣事業公債法中改正法律案參考書

理財局國債課

目次

- 一 法律案及理由書
- 二 法律案説明
- 三 台灣事業公債法起債制限ニ関スル調
- 四 現行法ニ依ル起債餘力額
- 五 新規公債發行所要額
- 六 台陽鑛業株式會社所有鉄道買收理由
- 七 同上買收價格ノ査定
- 八 同上建設費見積調書
- 九 同上
- 一〇 台灣事業公債法(現行法及改正沿革) 上(同會社調査ノ分)

法律 安永

台湾事業公債法中左ノ通改正ス
第一條中「一億五千三十萬圓」ヲ「一億五千二百萬圓」ニ
改ム

理由 書

台湾ニ於ケル私設鐵道買収ニ関シ起債法定額
ヲ増加スル為台湾事業公債法中改正ヲ要スル
モノアリ是レ本案ヲ提出スル所以ナリ

臺灣事業公債法中改正法律案説明

唯今日程ニ上リマシタ臺灣事業公債法中改正法律案ニ付キマシテ説明ヲ致シマス

臺灣ニ於ケル炭田ノ開發ヲ促進シ鐵道運輸用石炭ノ供給ヲ潤澤ナラシムルト共ニ該地方交通ノ發達ニ資スルカ爲ニ臺灣鐵業株式會社所有三貂嶺茅桐抗間ノ鐵道ヲ買收スルノ必要ヲ生シタノデアリマスガ其買收代價ハ財政計畫上公債ヲ以テ之ヲ交付スルコトニ致シマシタル爲臺灣事業公債法中起債制限額ヲ改正スルノ必要ヲ生シ改正法律案ヲ提出致シタ次第デアリマス御審議ノ上速ニ御協賛アラムコトヲ希望致シマス

ミナルミナラス一般炭業ノ發展ヲ期セントス而シテ買収價格ハ公債証書ヲ以テ交付スルコトトナスカ爲台湾事業公債法中發行制限額ヲ改正スルノ要アリ仍テ之カ改正法律案ヲ第五十六帝國議會ニ提出スルモノトス

台湾事業公債法起債制限ニ関スル調

(昭和元年度改定)
現行法定額

一五〇、三〇〇、〇〇〇

既定事業費豫定額

一五〇、二四八、七三〇
九八〇 (法定額) 五二、二六九、四二〇 切上

新規増加額

一七〇、四、五二五

計

一五一、九五三、二五五
九八〇 (法定額) 四六、七四四、〇二〇 切上

改定法定額

一五二、〇〇〇、〇〇〇

法定額

一五〇、三〇〇、〇〇〇圓

(元年度改定)

現行法ニ依ル起債餘力額調

内

昭和元年度迄公債發行済額

一七、七、七、三、三〇、九八〇圓

同

繰替借入金

三、二〇、〇〇〇

昭和二年度發行済額

九、三、三、九〇〇

同三年度發行豫定額

五、〇〇、〇〇〇

計

一三、二、四、一、二、三〇、九八〇

差引發行餘力

一五、〇、五、八、七、六、九〇、二〇〇

内四年度乃至六年度發行豫定

一五、〇、〇、〇、〇、〇、〇、〇〇〇

新規公債發行所要額調

區分	年度	發行豫定額	摘要
鐵道買收費	昭和四年度	一、七〇四、五二五	買收價額百五十萬圓ヲ 時價(八十八圓ト仮定)ニ換 算シ公債ヲ交付スルモノトス

台陽鑛業株式會社所有鐵道票收理由

從來鐵道運輸用石炭ハ其大部分ヲ四脚亭ノ鐵道部所有
鑛区ヨリ採掘シ不逞分ヲ購入炭ニ依リタルガ鐵道部所有
鑛区ハ昭和三年度ヲ以テ採掘ヲ了スルコトナルヲ以テ今後ハ
總テ購入炭ニ俟タサル可ラズ 然ルニ現在ノ鐵道部所有炭
田ハ品質頗ル優良ニシテ價格モ比較的低廉ナルガ之カ掘
了後他ヨリ購入スルトスルモ一ハ品質數量ノ關係ヨリ一ハ價
格ノ關係ヨリ頗ル不利ノ條件ニ依ララルヘカラス
是レ本島ニ於ケル在來炭田ハ既ニ老境ニ入り出炭著シク増
加セス殊ニ四脚亭附近ノ優良炭ハ其命脉漸次縮少セラ
レツツアル為ニシテ新炭田ノ開發ハ喫緊ノ事ニ屬ス

然ルニ新炭田トシテ將來ヲ期待シ得ルモノハ裏台北即チ七星
郡石底一帶ノ炭田ニシテ同地一帶ノ採掘可能炭量ハ

實ニ三千百餘萬噸ニシテ此ノ内運輸用優良炭ハ千五百
萬噸ニ及ビ鉄道使用炭ノ全部（年約十五萬噸）ヲ採炭
ストスルモ尚能ク百年ノ命脉ヲ維持シ得ルモノナリ
今固買収セムトスル台陽鑛業株式會社所有三貂嶺菁桐
抗岡延長八哩一分ノ鐵道ハ所謂裏台北炭田ノ北端ヨリ
其中心ニ及ヒ本炭田一帯ニ於ケル現在唯一ノ交通路ナリ
然レトモ本鐵道ハ專用線ニシテ一般ノ客貨ヲ輸送セズ加
ルニ設備不完全ニシテ沿線ノ炭田ヲ開發スルニ由ナキ現状
ニアリ最近沿線一帯ノ住民ヨリ同線ヲ營業線ニ變更
方屢々出願シツツアルモ及令營業線ニ變更スルトモ會
社經營ノ從テハ輸送力少ク且運賃高率ナルヲ以テ所
期ノ目的ヲ達スルニ充分ナラサル憾アリ
依テ之ヲ政府ニ買収シ炭田開發ヲ促進シ鐵道運輸

用炭ノ供給ヲ潤澤ナラシムルノミナラズ一般炭業發展
ヲ期セムトス而シテ買収價格ヲ百五十萬圓トシ公債証
書ヲ時價ニ換算シテ交付セムトスルモノナリ

買收價格ノ査定

臺陽鑛業株式會社ノ決算報告書ニ依レハ昭和元年十二月末日現在、鐵道財産額ハ三三、八一三圓六六八厘ナルモ此内一見建設費トシテ計上スルニ不適當ノモノアルカ如シ之ヲ正確ナラシムル為メ支拂證據書ヲ調査スルニ不揃缺欠セルモノアリテ内容ヲ知悉スルコト能ハス故ニ已ヲ得ス本鐵道ヲ新ニ建設スルモノトシテ之カ建設費ヲ豫定シタルニ別紙調書ノ通り一五九三、一六八圓トナルカ會社ハ之ヲ一五、〇〇〇圓ニテ賣渡スコトヲ承諾スル見込ナルヲ以テ買收豫定額ヲ一五、〇〇〇圓ト計上セリ

買收豫定價格ハ右ノ如ク一五、〇〇〇圓ナルカ買收ニ當リテ建設當時ノ收態ニ在ラサルモノハ調査ノ上會社ノ負担ヲ以テ補修ヲ命スル筈ナリ

鐵道建設費		金額	記事
科目	目		
監督費	測量費	一五九三、一六八〇	臺陽鑛業株式會社所有鐵道建設費見積調書 (三貂嶺菁桐坑間、八哩一分)
用地費	土工費	一四〇、〇〇〇	
橋梁費	溝橋費	二六、七六一〇	
伏樋費	隧道費	三九、八四〇〇	
軌道費	軌道費	二一、二〇〇〇	
		三九、三四〇〇	
		五、八六七〇	
		二六、九二〇〇	
		一八、六八九〇	

臺陽鑛業株式會社所有鐵道建設費見積調書 (臺陽鑛業株式會社調)		
費目	金額	記事
工事監督費	三九三、七四六、二〇	
用地費	二八〇、二九八、〇〇	
土工費	五八六、九四三、六一	
橋梁費	二三〇、九九四、三四	
溝橋費	四〇八、八〇七、九九	
伏樋費	七五九、七七〇	
隧道路費	三三四、一〇六、二〇	
軌道路費	三三三、一八六、七九	
停車場費	二八一、五四七、三二	
電話架設費	一六七、七七三、五〇	

諸建物費	五二、〇〇〇、〇〇
運搬費	八一、〇〇〇、〇〇
建築用汽車費	四、八六〇、〇〇
電話費	一六、二〇〇、〇〇
車輛費	一四九、八六〇、〇〇
建築用具費	一〇、〇〇〇、〇〇

建築用汽車費	七、七三、七七
運送費	三、一五、八一、七七
諸建物費	六、四八、六七、八一
車輛費	二、二三、五四、二九
合計	二、三二、八一、三三、八

台湾事業公債法

大正十一年三月二十七日
法律第十三號

第一條

台湾ニ於ケル事業費又ハ事業費補助ニ

要スル經費ヲ支辨シ且酒專賣制度ノ實現
施又ハ私設鉄道買収ニ要スル交付金トシテ交
付スル為政府ハ従前募集シタルモノヲ通シテ一億
五千三十萬圓ヲ限リ公債ヲ發行シ又ハセカ繰替
支辨ノ為借入ヲ為スコトヲ得

第二條

前條ノ規定ニ依ル公債ノ發行價格差減

額ヲ補填スル為必要アル場合ニ於テハ前條ノ
制限以外ニ公債ヲ發行シ又ハ借入ヲ為スコトヲ
得

附則

一、本法ハ大正十一年四月一日ヨリセテ施行ス

大正八年三月十九日前算分集示シタル台湾事業公債
ノ元金ノ消滅時効ニ付テハ仍従前ノ例ニ依ル

參照

改正沿革

当初

大正十一年三月二十七日
法律第十三號

一億二千六百三十萬圓

第一回改正

大正十二年三月二十六日
法律第十五號

一億三千三百八十萬圓

第二回改正

昭和二年三月二十九日
法律第十二號

一億五千三十萬圓

(債)

二六〇一六〇一四

借入金整理ニ關スル件

我國々債額中借入金ハ昭和二年六月二日現計ニ於テ五二六〇一六〇一四圓(別紙第五號參照)ノ巨額ヲ算シ歲計經理及國債政策上等ノ見地ヨリ速ニ之カ整理ヲ爲スノ必要ヲ認ムルニ至レリ今其ノ整理ヲ必要トスル理由ヲ略記スレハ左ノ如シ

一、各會計間ノ貸借ニ因ル債權債務ノ關係複雜シ經理上其ノ手續ヲ煩瑣ナラシメ同時ニ徒ニ歲計ヲ膨脹スルノ弊アリ

二、國債整理基金特別會計法上償還資金繰入額ノ算定ニ付テハ借入金ハ之ヲ國債ト看做ササルヲ以テ借入金ハ財政上償還計畫外ニ置カル、ノ結果トナル